

別記様式第11

平成22年度地域木造住宅市場活性化推進事業費補助金成果報告書

1. 事業名

信州産木材による地域木造住宅の担い手育成に関する事業

2. 事業実施期間

平成22年6月 ～ 平成23年 2月28日

3. 事業主体

県産材販路開拓協議会 地域木造住宅普及啓発部会

4. 事業の成果

4.1 事業の実施方法

1) 地域木造住宅及び地域木材流通と地域経済循環の先進地での研修

木造住宅の市場競争力の強化と中小住宅生産者の技術力の向上、木造住宅の長寿命化を図るため、木材生産者等と連携した木造住宅生産体制の整備、木造住宅の信頼性等の向上、大工技能者の育成等の取組み、地域木造住宅産業の経済的・地域内循環を実践している先進地域（ドイツ 黒の森木材チェーン協会）へ、県産材販路開拓協議会会員研修を行った。

2) 研修の発表

地域木造住宅に関わる木材生産者、地域木造住宅施工者・建築士における次世代のリーダー的担い手へ、先進地の高性能木造住宅技術及び地域木造の供給体制、住宅供給の担い手教育、森林整備技術、地域木材供給体制等研修発表と、地域材の取組みを長野県内においてセミナー形式で8回開催した。建築士、工務店、製材業者、林業施業・素材生産者、木材建材流通業者、地方行政担当者、大学生等228名が参加した。

研修発表の内容についてアンケートを実施した。

3) ワークショップの開催

セミナー開催後県内有志によるワークショップを2回開催し、地域内の担い手との共同による経済的・地域内循環社会による地域木造住宅普及プランの検討を実施した。

4.2 事業の経過

1) 地域木造住宅及び地域木材流通と地域経済循環の先進地での研修

7月13日（火）～7月21日（水）

研修地：バーデン・ヴュルテンベルク州 フライブルク市周辺

研修派遣数 8名

研修場所：針葉樹林施業現場（2カ所）、森林施業機械メーカー、製材工場、プレカット工場、木製建具工場、家具製作工場、地域木造住宅施工工務店（2カ所）、地域木造住宅、木造プレハブメーカー、木工作家、黒い森木材チェーン協会、木工職人・大工養成学校（シュレー）、フライブルク都市整備、ゼロエネルギー住宅

地域木造住宅及び地域木材流通と地域経済循環の先進地での研修



森林整備 林道整備の研修



地域木造住宅の躯体加工視察



黒の森木材チェーン協会
との意見交換会

2) 研修の発表

- 9月 3日 (金) 長野県林業総合センター 大会議室 午後 3:00~4:00
信州の木マイスター講座「公開講座」 参加人数: 80名
- 9月 7日 (火) 長野市生涯学習センター 大学習室 3 午前 9:30~12:00
県産材と地域木造住宅の担い手育成セミナー
第1回発表 テーマ 「アカマツ・スギ」「ドイツの山から住宅まで」
参加人数: 26名
- 9月 21日 (火) 長野市生涯学習センター 大学習室 1 午前 9:30~12:00
県産材と地域木造住宅の担い手育成セミナー
第2回発表 テーマ 「家具・建具」「ドイツの家具・建具と住宅・建築」
参加人数: 23名
- 10月 7日 (木) 長野市生涯学習センター 大学習室 1 午前 9:30~12:00
県産材と地域木造住宅の担い手育成セミナー
第3回発表 テーマ 「ヒノキ」「ドイツの林業・製材と行政」
参加人数: 22名
- 10月 19日 (火) 長野市生涯学習センター 大学習室 1 午前 9:30~12:00
県産材と地域木造住宅の担い手育成セミナー
第4回発表 テーマ 「アカマツ・スギ」「ドイツの山から住宅まで」
参加人数: 22名
- 10月 31日 (日) 株式会社林友カナディアンホール 午後 2:30~5:00
長野県納材協会平成 21 年度研修会 テーマ ドイツ林業視察の発表
参加人数: 20名
- 12月 20日 (月) 長野県下伊那地方事務所 302 会議室 午後 1:00~3:00
ドイツ視察に関する下伊那地方事務所林務課研修会 参加人数: 15名
- 12月 20日 (月) 飯田市自治振興センター会議室 午後 4:00~4:30
ドイツ視察に関する伊賀良地区報告会 参加人数: 20名

3) ワークショップの開催

- 11月 11日 (土) 新建新聞社 会議室 参加人数: 15名
1月 15日 (土) 新建新聞社 会議室 参加人数: 17名



県産材と地域木造住宅の担い手育成セミナー



長野県納材協会平成 21 年度研修会



信州の木マスター講座



ワークショップの開催

4.4 事業の達成状況

1) 地域木造住宅及び地域木材流通と地域経済循環の先進地での研修

黒い森木材チェーン協会の全面協力により、研修地での 6 日間で森林整備及び施業から都市計画までの先進技術等を確認することができた。

2) 研修の発表

林業、木製材業、建築設計事務所及び工務店、行政、学生等と地域木造住宅に関わる者が、8 回の研修発表に 228 名が参加した。「信州産木材による地域木造住宅の担い手育成に関する事業」セミナーの 4 回ではアンケートを実施し、大変良かった及び良かった 90%であった。同セミナーでは、地域材の地域木造住宅への活用提案を実施した。

3) ワークショップの開催

研修者をはじめセミナー参加者が参加し、経済的地域内循環社会による地域木造住宅普及プランの検討を実施した。

4.5 今後の事業の展開に関する計画等

先進地での研修で収集した地域木造住宅構築資料をより精査し、地域木材を活用した地域木造住宅産業が地域経済循環の一部を担い、観光業や農業などの他産業との連携によるより強い地域社会循環のあり方について、ワークショップ等を開催し検討と提案を行う。